

平成30年度



南あわじ市の教育方針

ふれあい共生の人づくり

— 知恵あふれ、ふるさと南あわじを大切に作る人づくり —

南あわじ市では、平成29年度からの10年間のまちづくりを総合的かつ計画的に進めるため、『だから住みたい 南あわじ ～人がつながる 笑顔あふれる ふるさとづくり～』を将来像に掲げた「第2次南あわじ市総合計画」を策定し、推進しています。

教育委員会においても、本計画の柱の1つである「ひかり輝く人づくり」により、次世代を担う人づくりのための施策を展開し、平成30年度は、これらの取組をふまえ、第2期南あわじ市教育振興基本計画（平成27～31年度）に基づき進めていきます。

学校教育においては「次世代の人材を育てる教育」をテーマに、社会教育においては「活力と生きがいをはぐくむ教育」をテーマに、それぞれ掲げて取り組んでいきます。

そして、ふるさと南あわじを愛し、人と人とのつながりを大切にしながら、より良い地域づくりに貢献できる、社会人基礎力の養成を進めてまいります。

【学校教育の主な取組】

新学習指導要領の移行措置や教育施設再編などの課題に的確に対応しながら、継続事業の他、次のような事業に取り組んでいきます。

「防災ジュニアリーダー養成事業」：人としての生き方・あり方を考える防災教育の推進

「南あわじサテライト講座」：兵庫教育大学との教育協定によるミドルリーダー等の育成

「コアカリキュラムの開発」：人形浄瑠璃等を活用したコミュニケーション能力の育成

「教育環境づくり」：教育施設の大規模改修、小学校空調設備の整備

「ネット教育センター整備事業」：グループウェア等の導入によるICTに関する支援充実、教職員の勤務時間の適正化・情報の共有、教職員の資質向上

【社会教育の主な取組】

生涯学習社会のなか、主体的な学びの充実を支援し、一人一人豊かな自己実現を図り、共生の人づくりを進めるため、次のような事業を中心に取り組んでいきます。

「銅鐸を活かしたまちづくり事業」：松帆銅鐸等の歴史遺産を活用したまちづくりの推進

「地域学校協働本部」：地域と学校が連携・協働して取り組む青少年の健全育成

「夢プロジェクト」：著名なアスリート等から夢を持って努力する大切さを学ぶ事業

南 あ わ じ 市 教 育 委 員 会

南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会



次世代の人材を育てる教育

基本方針1 「確かな学力」の確立と自立して生きる力の育成

重点目標

- ① 児童生徒の実態に即し、「主体的・対話的で深い学び」の視点から、指導方法の工夫・改善に努め、個に応じた多様な指導の充実を図る。
- ② 基礎・基本の確実な定着を図りながら、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を身に付けさせ、主体的に学習に取り組む姿勢を培う。
- ③ 豊かな体験活動や課題解決的な学習を通して、思考力・判断力・表現力等の育成・向上を図るとともに、言語活動を充実させて「ことばの力」を育成する。
- ④ 合理的配慮の提供をふまえ、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。
- ⑤ 教育活動全体を通じた小中一貫の組織的・系統的なキャリア教育の充実に取り組む。
- ⑥ グローバル化に対応した教育を推進し、英語力の向上を図る。
- ⑦ 人形浄瑠璃等の伝統芸能を活用したコミュニケーション能力の育成を図る。

基本方針2 「豊かな心」を育成する道徳・人権教育の充実

重点目標

- ① 郷土の特色を生かした豊かな体験を通して、生命や自然に対する畏敬の念を育む。
- ② 自尊感情を高め、自己実現と共生をめざす人権教育を推進する。
- ③ 豊かな情操や規範意識、自他の生命の尊重、他者への思いやりを育む道徳教育と道徳的実践力を培う。
- ④ 郷土の先人の生き方等地域の歴史を学び、ふるさと意識の向上を図る。
- ⑤ 「特別の教科 道徳」の理念に沿って、「考え、議論する道徳」の授業づくりを進める。

合理的配慮の提供をふまえた特別支援教育支援体制

幼・保・こども園、小、中学校で支援

特別支援教育校内外委員会

- ・支援が必要な幼児、児童、生徒の実態把握
- ・具体的な支援内容や方法の検討

特別支援教育支援員の配置

行動面での不安定さや特別な支援が必要な幼児、児童、生徒への教育的支援

ユニバーサルデザインの場づくり

特別支援教育コーディネーターの役割

- ・学校園所内の連絡調整
- ・関係機関との連携
- ・研修会の実施
- ・交流及び共同学習の推進

通級指導

学校生活支援教員の配置

市で支援

特別支援教育コーディネーターネットワーク会議

- ・各学校園所の情報交換
- ・支援方法の研修

教育支援委員会

幼児、児童、生徒の就学に関する指導と継続した支援

あわじ教育相談(毎月第2・第4木曜日)

就学前5歳児健康診査(健康課)

医療的ケア支援事業

特別支援学校や他の様々な関係機関と連携して、早期からの相談・支援体制づくりを進めます。

基本方針3 体育・食育活動を通じた「健やかな体」の育成

重点目標

- ① 運動に親しむ習慣や意欲を養い、体力・運動能力の向上を図る。
- ② 発達段階をふまえた指導、安全の確保や休養の設定などにより、豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。
- ③ 健康で安全な生活を送るための基礎を培うとともに、家庭や地域と連携して食育の推進に取り組む。

基本方針4 安全・安心で、開かれた学校・園づくりの推進

重点目標

- ① 学校評価を生かし、「社会に開かれた教育課程」を重視する学校・園づくりを進める。
- ② 幼・保・こども園、小、中、高、大の連携を一層深め、家庭や地域との絆を強め、安全な環境で、安心して生活を送ることができるよう実践を進める。
- ③ 子どもの内面理解に基づく生徒指導の充実を図り、いじめなどの問題行動に的確に対応する指導体制を整備し、未然防止や早期発見、早期対応に取り組む。
- ④ 家庭・地域・関係機関との連携をより深め、自らの命は自らで守る能力や人としての生き方・あり方を学ぶ防災教育を推進する。

基本方針5 教職員としての資質と実践的指導力の向上

重点目標

- ① 教職員としての高い使命感・倫理観を保持し、豊かな人間性の涵養に努める。
- ② 幅広い視点からICTを意図的・計画的に活用し、教育効果の向上をめざすとともに、教育の専門家としての感性豊かな実践的指導力の向上を図るなど、絶えず研修を深める。
- ③ 社会の変化に対応した教育観を培い、子どもに対する愛情と責任感を持ち、体罰に頼らない心の通い合う指導の充実を図る。
- ④ 初任者や若手教職員の研修を充実させる。
- ⑤ 兵庫教育大学と教育協定を締結し、ミドルリーダーを中心とした研修体制を整える。

基本方針6 遊びを通じた確かな「学び」を培う幼児教育の推進

重点目標

- ① 幼児の発達や自発的な活動の遊びを重視し、体験を通じたものの「見方・考え方」を育む。
- ② 幼・保・こども園、小の連携及び交流活動を通して、円滑な接続を行う。
- ③ 幼児の直接的・具体的な体験活動を通して、伝え合う力の育成や自立と協同の態度を培う。

基本方針7 安全・安心に過ごせる教育環境づくり

重点目標

- ① 小学校への空調設備の整備を実施する。
- ② 子どもたちが安全で安心な学校生活を送れるように、小・中学校施設の改修等を行う。

活力と生きがいをはぐくむ教育

基本方針1 連帯社会の再生、家庭と地域の教育力の向上

重点目標

- ① 家庭の教育力の向上を図るため、学習機会の提供と子育て支援の充実を図る。
- ② 「地域のおじさんおばさん運動」等のネットワークづくりを活用して、子育て家庭への見守りや青少年の健全育成に努める。
- ③ 地域の連帯意識を高めるため、異年齢や異世代とのかかわりを通して、自主性や創造性・社会性を育む体験活動、学校支援活動の充実を図る。
- ④ 住民が幸福で豊かな生活を営むことができる社会を創出するため、年齢や性別、障害等を問わず、人々が、関心や適性等に応じてスポーツに参画することができる環境を整備する。
- ⑤ 「早寝・早起き・朝ごはん」運動や「あいさつ運動」を進める。

基本方針2 体験を通して学ぶ伝統文化の香り高いまちづくりの支援

重点目標

- ① 伝統文化の継承を支援し、子どもたちの伝統文化への関心と理解を深めるとともに、発表の機会を提供するよう努める。
- ② 文化財の保存と文化施設の活用を図り、地域に密着した学習・情報拠点としてのサービス機能の向上に努める。
- ③ 市民の生きがいづくりを支援するため、ライフステージに応じた学習機会の充実や、学習成果を生かすことができる機会、情報の提供などに努める。



① ちかくに ② いつでも ③ きっと

ハート・ブリッジ・メンバーズ「地域のおじさんおばさん運動」

次代を担う子どもの健やかな成長を図るためには、子どもたちを温かく見守りながら豊かな心を育てようとする大人の輪を広げることが必要です。

日常のあいさつや声かけ・見守りなど、できることから子どもと大人のつながりを築いていきます。

基本方針3 人権尊重の文化が根付くまちづくりの推進

重点目標

- ① 共に生きるまちづくりに向け、地域で起こる身近な人権問題に対し、正しい認識を培い、主体的な行動を促す人権学習を進める。
- ② 一人一人の個性が大切にされ、人権尊重の文化に満ちた社会の創造に努める。

基本方針4 運動に親しみ体力の向上をめざした生涯スポーツの推進

重点目標

- ① 気軽にスポーツを楽しめるよう環境整備に努めるとともに、地域に根付く多様なスポーツ活動の推進を図る。
- ② 優れたスポーツイベントに触れる機会を提供し、住民に夢と感動を与え、スポーツへの関心を高め、社会に活力を生み出し、住民生活に広く寄与する。
- ③ 豊かなスポーツライフを実現し、体力の向上と地域コミュニティづくりに活かす。

基本方針5 社会教育の指導者としての資質と実践的指導力の向上

重点目標

- ① さまざまな個人の要望や社会の要請に応える専門的指導者の育成に努める。
- ② 学校・家庭・地域の連携を支える指導者の育成やネットワークづくりを進め、地域の教育力の向上に努める。
- ③ 地域においてスポーツを推進する中から優れた選手、指導者を育くみ、その選手、指導者が地域におけるスポーツの推進に寄与するという好循環を創出する。

銅鐸を活かしたまちづくり事業

平成27年4月の「松帆銅鐸」発見、翌28年4月の「淡路島日本遺産」認定を受けて、新たな事業を展開するために市民参画による「南あわじ市歴史を活かしたまちづくり実行委員会」を立ち上げました。今後は、市民が中心となって松帆銅鐸をはじめとした南あわじ市や淡路島の歴史資源を活用し、人と人との交流やネットワークづくりを進め、郷土愛を育むまちづくりのための取り組みを推進します。



銅鐸チョコ



まちづくりカフェ

南あわじ市

学校教育



親子あそび（幼稚園）



自然と親しむ（こども園）



保小交流（保育所・小学校）



環境体験学習（小学校）



伝統芸能継承（小学校）



福祉体験（中学校）



道徳教育（小学校）



外国語活動（小学校）



プログラミング教育（小学校）



学校給食地場食材活用
（幼稚園・小学校・中学校）



防災ジュニアリーダー（中学校）



いじめ防止プロジェクト（中学校）

の教育

社会教育



夢プロジェクト



B&G 海洋教室



わんぱく塾 四万十川源流体験



松帆銅鐸鑄造体験



茶道お作法教室



ランニングフェスティバル



学校支援地域ボランティア



人権フェスティバル



南あわじ音楽祭



中央公民館公開講座



手縫い講座



図書館フェア 絵本づくり



南あわじ市市民憲章

南あわじ市は、もとの三原郡域を引きつぎ、野の幸、山の幸、海の幸に恵まれています。また、国生み神話に彩られた歴史をもち、薫り高い伝統文化がはぐくまれてきました。わたくしたち市民は、花と緑と青い海、きれいな空気を大切にし、夢と希望の実現に向かって努めることを誓い、この憲章を定めます。

- ・人と郷土を愛し、未来を見つめて力強く生きる若い世代を育てます。
- ・周りの人を思いやり、お互いを認め合って、共に生きてゆく喜びをめざします。
- ・恵まれた豊かな自然を生かし、美しい景観や環境をまもります。
- ・歴史遺産や伝統文化を大切にし、誇りをもって次の世代に伝えていきます。
- ・仕事に夢と情熱をもち、創意工夫して産業の新しい発展につとめます。

平成22年1月11日制定